

2006年
8月15日
No.2

さざなみ

〒520-0043
大津市中央一丁目5-25
小堀マンション2030号室

さざなみネット
(全国金融一般労働組合滋賀支部)
TEL・FAX 077-522-7868

全国金融一般労働組合第1回全国大会を開催 個人加盟の組合が待ち望まれている お互いに心の底から話し合い、待ち場持ち場でがんばろう

全国金融一般労働組合は、去る7月17日大津市において、第1回全国大会を開きました。

まず鈴木中央執行委員長は、パートなど非正規行員の急増・労働条件悪化の状態を紹介、個人加盟の組合が待ち望まれている情勢を説明し、お互いに心の底から話し合い、持ち場・持ち場でがんばろうとあいさつしました。

来賓の谷地銀連中央執行委員長は、三単産合同の状況と合同後の大きな展望を述べ、お互いの最善の努力を確認しました。

中島滋賀従組執行委員長は、藤沢周平の小説を紹介しながら多数派結集への想い・お互いの奮闘を述べあいさつしました。

議題として、規約の確認と支部の確立について、2006年度の運動方針、予算、役員、地銀連の大会代議員・中央委員が提案され、討論し採決しました。

最後に新役員を代表して、鈴木委員長が、みんなで楽しく希望を持って活動していこうとあいさつし、大会を閉じました。

(新役員)

執行委員長 鈴木政隆
書記長 山崎幸雄

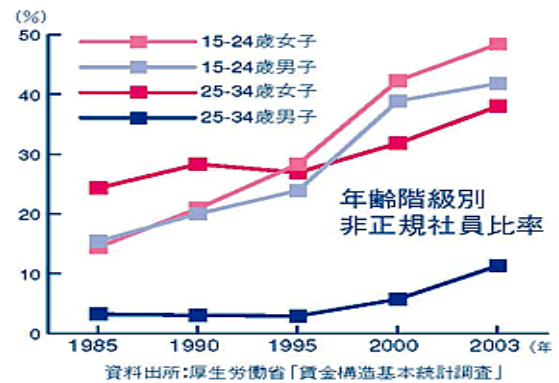
(他省略)



非正規で働く若者が増大 正規から非正規雇用への置き換えが急増

非正規で働く若者が大変な勢いで増大しています。特に15歳から24歳台の女性の急増が目立ちます。高校、大学を卒業しても正規での就職口がないことが大きな原因です。この若者達が年収100万円から200万円程度でズーッと非正規で働き続けざるを得ないとしたら、日本の将来はどうなるのでしょうか。

滋賀銀行では、従業員数を8年前と比べると男性215人減、女性218人減、嘱託・臨時雇用209人増と女性の正規が非正規雇用へ置き換えられ、従業員の29.3%は非正規雇用になっています。(2006年3月現在)



大会で出た職場の声

(代理補の女性)
何から何までさせられて
「窓口にもっと出よう」

午後9時ごろJRの駅で、帰宅途中の代理補の女性に会った。一声「もういやになってきた。テラーの成果が少し上がらないと、支店は『窓口にもっと出て成果があるようにせい』と文句だけ。何から何までやらされて、誰が決裁などするのか」と、急いで電車に乗られた。

(パートさん)
仕事を変わっても
時間給そのまま

パートさんの仕事が変わっても、時間給はそのままになっている。行員が減ったが、今いる行員にはその仕事が出来ないらしい。やむなくパートさんに無理を言っておわってもらった。人員不足がこんなところまで波及し、パート間でも不満になってくる。

